

8月7日 大分県西部の地震

震央分布図

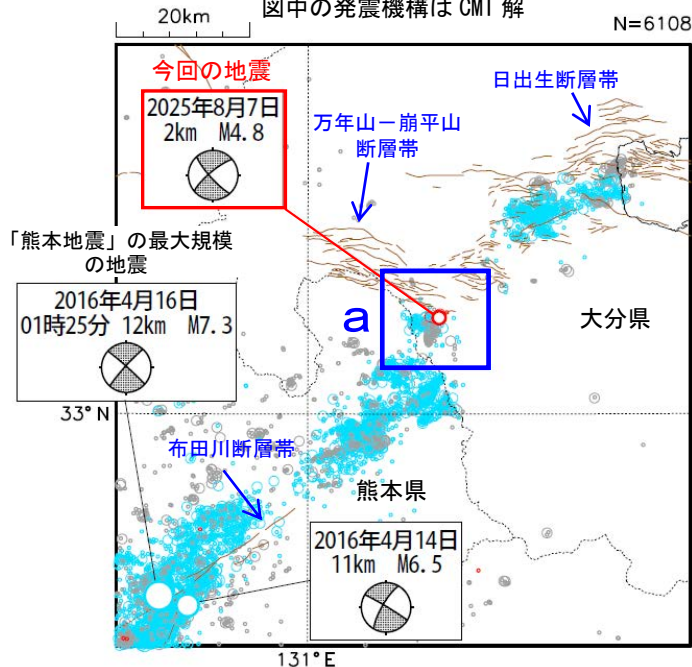
(2000年10月1日～2025年8月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年4月14日～2017年4月13日（熊本地震発生
から1年間）の地震を水色○で表示

2025年8月の地震を赤色○で表示

図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

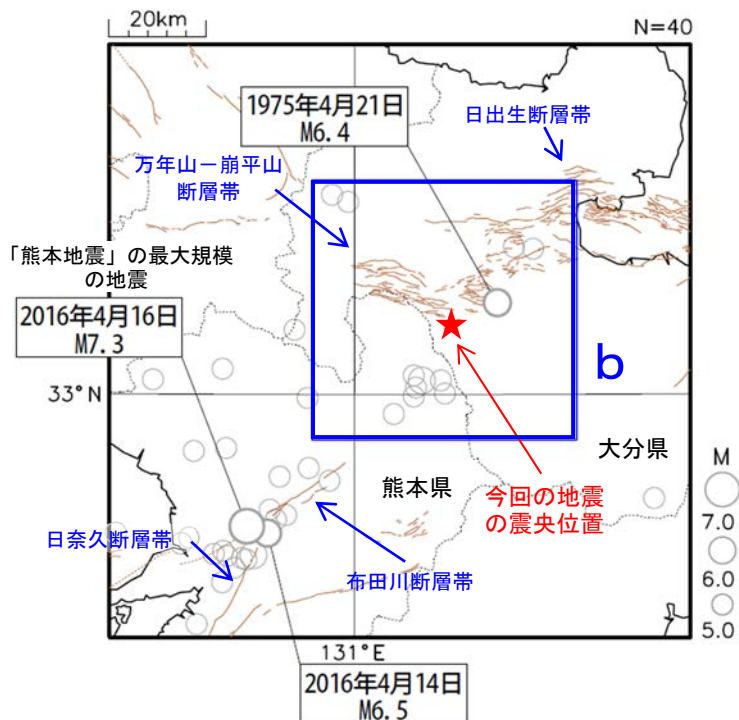
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2025年8月31日、
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$)

図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

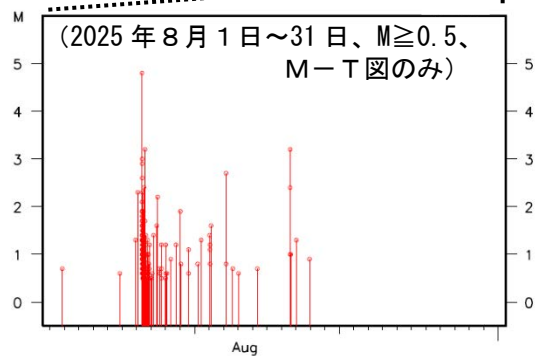
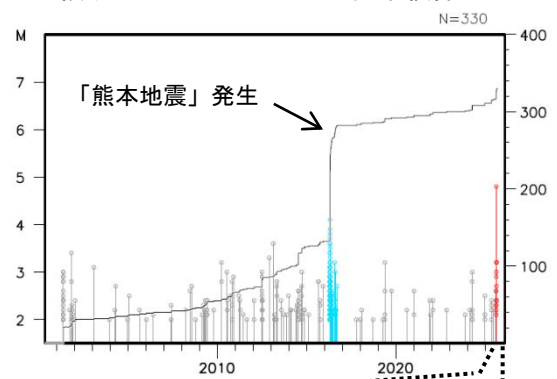


2025年8月7日08時47分に大分県西部の深さ2kmでM4.8の地震（最大震度3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の後、ほぼ同じ場所で8月17日までに震度1以上を観測する地震が5回（震度2：2回、震度1：3回）発生した。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM3.0以上の地震はしばしば発生しているものの、M4.0以上の地震はまれである。なお、今回の地震は、「平成28年（2016年）熊本地震」（以下、「熊本地震」）の活動域に含まれる。領域aでは「熊本地震」の最大規模の地震が発生して以降、一時的に地震の発生数が増加した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が2回発生している。1975年4月21日に発生したM6.4の地震（最大震度4）では、負傷者22人、住家被害2,240棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

